

ねりまの 産業を 元気に!



P.3 ~ 5
関連記事
を掲載!

練馬の誇る都市農業
～魅力と可能性～

contents

- ◆ ねりま観光センター information P.2
- ◆ 練馬区伝統工芸展 P.2
- ◆ 特集 練馬の誇る都市農業 P.3
～魅力と可能性～
- ◆ neri・made 気になるお店 P.3
- ◆ 教えて中小企業診断士さん P.6
- ◆ 社長さん 訪問記 P.7
- ◆ 練馬ビジネスサポートセンター P.8

ねりまのオススメをあなたが決める

ねりコレ2020投票受付中!!



ねりま観光センターホームページ
区内イベント情報、おすすめスポット等、旬の観光情報を楽しく発信しています。ぜひご覧ください。

ツイッター、フェイスブックでも情報発信中!



<https://twitter.com/nerikohouse>



<https://facebook.com/nerimakanko>

■ 問合せ：ねりま観光センター ☎03-4586-1199 E-mail: kanko@nerima-idc.or.jp



第31回 練馬区伝統工芸展
～伝統の心と技～

10月25日(金)・26日(土) 10時～18時
27日(日) 10時～17時

練馬区立区民・産業プラザ(練馬区練馬1-17-1 Coconeri 3階)

練馬区には100年以上前から今日まで多くの職人の心と技により受け継がれてきた魅力ある伝統工芸品があります。

16業種の作品展示・実演・販売が行われますので、皆さまのお越しをお待ちしています。

展示・販売される伝統工芸品

東京手描友禅・江戸表具・江戸筆・東京染小紋・尺八・和裁・螺鈿蒔絵・江戸刺繍・東京額縁・組紐・江戸木彫刻・手織・東京彫金・陶芸・風呂敷染・椅子張

伝統工芸品の
チャリティー即売会

出品作品は会員から提供されるもので、収益金の一部は「練馬みどりの葉っぱい基金」等に寄付されます。

※10月26日(土)・27日(日)開催

※詳細については、期間中に即売会コーナーでお尋ねください。

体験コーナー(有料)

練馬区伝統工芸会に所属する職人の技を実際に体験してみませんか?

業種：尺八・手織・東京手描友禅・東京彫金・江戸刺繍

お茶席(有料)

10月26日(土)・27日(日)

10時30分～15時30分

定員：各日120名 費用：500円(当日会場受付)

■ 問合せ：練馬区経済課中小企業振興係 ☎03-5984-1483



練馬の誇る都市農業 ～魅力と可能性～

東京 23 区で最大の農地面積を持つ練馬区が、都市農業の魅力と可能性を世界に発信しようと、11 月 29 日から 3 日間、「世界都市農業サミット」を開催します。そこで、都市農業の魅力とは何か、課題にどう向き合い可能性を見いだしているのかについて、JA 東京あおば代表理事組合長で、さかい農園 5 代目の酒井利博さんにお話を聞きました。



酒井 利博さん

昭和 26 年生まれ。東大泉で江戸末期から続く、さかい農園の 5 代目で、ブルーベリーと野菜を中心に生産している。東京あおば農業協同組合（以下：JA 東京あおば）に 26 年勤めた後、家業の農業に専念。JA 東京あおばの副組合長を経て、令和元年 6 月、代表理事組合長に就任。今でも繁忙期は出勤前に農作業を行っている。

nerj·made 気になるお店

家庭的なおつまみとお酒を楽しめる7席のカウンターバー

2019年6月、谷原に6坪のアットホームなバーがオープンしました。店内は、センスの良いフラワーアレンジメントが目を引くおしゃれな空間。「毎日違うメニューを考えるのが好き」と話す米山さんが作るのは、野菜中心のヘルシーなおつまみです。こだわりのビールやワイン、日本酒が揃い、お客さん同士の会話も弾むそう。

どんな一皿と出合えるのか…わくわくしながら扉を開けてみませんか。女性も大歓迎とのことです♪



「魔女の宅急便」とお酒と野菜が大好きという店主の米山明美さん



無農薬野菜を生かした日替わりのおつまみは SNS で日々紹介しています。写真は、人気のピクルス (500円)

■ほうきぼし

練馬区谷原5-30-9 ☎080-3704-5309 定休日:火・水曜 臨時休業あり 16時~22時 <https://houki-boshi.com/>

世界的に見ても珍しい!! 住宅街の中に農地が点在する練馬

23区内の農地面積の約4割を占める練馬区。それでも平成5年と比較すると、区内の農地は50%以上減少しています。一方で、区内在住者は増え続け、令和元年9月現在で73万人超となりました。

「昔は畑の中に家があったけれども、今は住宅に囲まれた中に畑がある。住民の皆さんの理解や協力がなければ、農業を続けていくことはできない」と、洒井さんは話します。大都市・東京で営む練馬の農業は、**世界的に見ても稀有な存在**として注目されています。

鮮度の高い農産物に加えて、 さまざまな取組が魅力!

区内には、JA東京あおばの共同直売所や、畑に併設する**無人直売所や販売機が100か所以上**あり、採れたての野菜や果物を買うことができます。

「野菜や果物、植物、加工品を販売する**マルシェ**も区内各所で開催され、生産者が消費者と直接交流できる場になっています」

農家の指導を受けながら野菜を作る**農業体験農園**は練馬区が発祥で、農園数、区画数ともに全国最多。**練馬果樹あるファーム**と銘打ったブルーベリーやカキ、キウイフルーツなど摘み取りのできる観光農園が多いのも特徴です。

JA東京あおばでは、食や農の大切さ、都市農業の魅力伝えるため、小中学校への**出前授業、社会科学見学**や**職業体験**の受け入れを行い、**学校給食**には地場産農産物を提供しています。また、企業と協力した商品や**プライベートブランド(PB)**商品の開発・販売にも取り組んでいます。

「東京家政大学と共同開発した『江戸東京野菜福神漬』や、練馬産キャベツを使った山崎製パン『ランチパック』も好評でした」



洒井 利博さん



都市農業の役割は幅広い! 防災、環境、緑のある豊かさを提供

区民アンケートで、都市農業・農地に対する考えについて聞いたところ、「都市生活を豊かにする」との回答が79%ありました。

「都市生活に緑があると、心の豊かさが得られます。災害時には**一次避難場所**になり、**ヒートアイランド対策**にもなります。私たち農家は、“顔の見える消費者”と一緒に、地域の安全・安心に取り組むことも大切なことだと感じています」

農地の貸借制度ができ、 他者に貸して農業を守る道も

JA東京あおばが使命として第一に掲げるのは、「都市農業を守ること」。生産緑地法の一部が改正され、**特定生産緑地制度**が平成30年4月から施行されました。これは、生産緑地の指定から30年経過する前に特定生産緑地に指定されると、引き続き10年間生産緑地として維持する代わりに、所有者は今までと同様の税制優遇を受けることができる制度です。さらに、生産緑地の指定を受ける下限面積が従来の500㎡から300㎡に緩和されたほか、生産緑地内に直売所や**「農家レストラン」**などの設置が可能になるなど、生産緑地を保全する仕組みができました。

「都市農業を守る観点からも、この制度に乗っていないといけない。**都市農地の貸借の円滑化に関する法律**も施行されたので、仮に自分で農業ができなくても、他者に貸して農業を守ることができる。行政と一体となり、制度の周知を進めているところです」



区民が収穫体験できるイベント



練馬大根引っこ抜き競技大会

練馬の誇る都市農業 ～魅力と可能性～



高齢化と後継者・人手不足に新たな可能性が見えてきた

依然として、農家の**高齢化と後継者問題**は大きな課題であることも事実。農業従事者の平均年齢は63.5歳（平成26年度練馬区農業者意向調査）です。高齢化や人手不足などの理由で、共同直売所に出荷できない生産者も少なくありません。

「その解決法として、JAの職員が回収するなど**集荷体制を充実**させ、販路を支援していく構想があります」


貸借制度を利用して市民農園ビジネスに参入する企業も現れています。練馬区は、平成27年3月に「農の学校」を開校し、**都市農業に関わる人材を育て**、支え手を必要とする農家とのマッチングなどを行っています。

また、障害者や高齢者が農業分野で活躍する「**農福連携**」にも関心が高まるなど、農と地域がつながる都市農業は、多くの役割を担いながら、まだまだ進化していく可能性を秘めています。



地場産の採れたて野菜などを生産者が直接販売するマルシェ

UAWS 世界都市農業サミット
2019 令和元年
11月29日(金)・30日(土)・12月1日(日)
場所：練馬文化センター、
区民・産業プラザ(Coconeri3階)、
平成つつじ公園
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/nogyo/summit.html>



さかい農園の後継者として就農した
洒井雅博さんに聞きました

トマトが好きで、栽培に力を入れている雅博さん。さかい農園のハウスにて。



洒井 雅博さん

さかい農園6代目。昭和61年生まれ。自動車部品設計会社に勤務後、平成26年に就農。JA東京青壮年組織協議会副委員長、JA東京あおば大泉地区青年部長。世界都市農業サミット「ねりマルシェ」の企画運営を担当。

都市農業の大切さに気づき、 新しい農業を勉強中です

大学は理系の専攻で、就職は自動車部品の設計会社。農業とは畑違いでした。しかし、リーマンショックで大打撃を受け、転職をしようかと打ち明けたら、それまで一切農業のことは口にしなかった父から「農業という道もあるよ」と。当時、28歳。今なら体も動き、新しい農業の勉強をすれば今以上のことをやっていけるのでは！と思い、就農しました。

子どもの頃は当たり前だと思っていましたが、都内に畑があることは、グリーンインフラとして大切なんだと気付かされました。都市農業の利点は、どの産地よりも消費者が近く、飲食店、スーパー、直売所と販売チャンネルが多いこと。成果物に対する評価をダイレクトに聞けるのが、やりがいです。

農業は面積が収入に直結しています。農地の貸借制度ができたので、さらに畑を広げていきたいと思っています。





写真の力で 売上アップ!

中小企業診断士
フォト・パートナーズ(株)
代表取締役
石田 紀彦

各種調査によると、人が予定になかったものを思わず買ってしまう理由は、1位が「値段」で、2位が「写真」であるという結果が出ています。ここでは、写真の力でお客様が「思わず買ってしまう」ための撮影のコツをお伝えしたいと思います。

■ 写真で売上を上げる方法





「売上」は分解すると「客数」×「客単価」になります。写真は客数と客単価のどちらに対しても好影響を与えることができますが、ここでは客単価アップの方法をお伝えします。

客単価を上げる方法としては、例えば、飲食業であれば以下の2つの方法が考えられます。

- ① 一品単価が高い商品を「これ、美味しそう!」と思わせる(注文単価アップ)
 - ② 元々頼もうと思っていた商品以外に「これも、美味しそう!」と思わせる(注文数アップ)
- どちらにしても「美味しそう!」という気持ちが客単価アップのポイントだということがわかりますね。

■ 写真で「美味しそう!」と思わせる方法

それでは、どうすれば写真で「美味しそう!」と思わせることができるのでしょうか? 弊社が独自に調査した結果があるのでご紹介します。はじめに、光を当てる方向を変えて焼き鳥を撮影します。その写真に対して、インターネットアンケート調査で『Q.最も「美味しそう!」と感じる写真を1枚選んでください(単回答)』と尋ねてみました。その回答結果が、下表となります。

		① 順 光 4.6%
		② サイド光 32.4%
		③ 半逆光 45.4%
		④ 逆 光 17.6%

③の半逆光で撮影した写真に対して、人は「美味しそう!」と感じることがわかりました。つまり、「客単価アップのためには半逆光での撮影が最も効果的」ということがわかります。

■ まとめ

このように、客数と客単価のうち、どちらに影響を与えようとしているのか、目的をはっきりさせれば、効果的に「写真」を売上に直結させることができます。チラシやSNSの写真撮影時の参考にさせていただいたら幸いです。

さらに詳しく知りたい方へ

■ 事業者向けセミナー

自分で撮れる! 写真を使った売上UPの全ノウハウ

10月24日(木) 19時~21時 練馬区立区民・産業プラザ 研修室1
講師: 石田 紀彦 氏 フォト・パートナーズ(株)代表取締役 (Coconeri3階)

- 対 象/事業者・創業予定者
- 定 員/50名(申込順)
- 参加費/500円
- 締 切/10月21日(月)

■ 問合せ: 練馬ビジネスサポートセンター ☎03-6757-2020 <https://www.nerima-idc.or.jp/bsc/>

社長さん訪問記 #016

株式会社 BAISOKU 吉沢 和雄さん

ITを会社経営の動力として活用し、 中小企業を元気にしたい!



株式会社 BAISOKU 代表取締役 吉沢 和雄さん

昭和38年生まれ。清瀬市出身。高校生の頃、独学でプログラミングを修得。大手IT企業で12年間、SEとしてシステム開発に携わる。平成13年に池袋で起業し、平成29年、現在の中村橋に移転。

中小企業に合ったシステム開発手法を考案

「これからはITの時代」と言われるようになって久しく、国は補助金などで後押しをしていますが、中小企業のIT化は依然として全く進んでいません。理由は大企業のようなシステム部門がなく、ITに強い人材もいない。システムを発注しても、開発から納品までにコストや時間が掛かり、中小企業には向いていない。当社のシステムの特徴は、業務の流れ全体をクラウド上でIT化し、いち早く稼働させること。お客様に使ってもらいながら、調整を繰り返していく、いわばシステムのイーजीオーダーです。

具体的には、顧客管理、業務管理、在庫管理、勤怠管理などに含まれる、細かい業務の中から必要なものをカスタマイズします。それらを複合的にデータ分析して、リアルタイムに可視化を実現。立場によって権限付与もできます。私たちの目的はシステムを導入してもらうことではなく、企業永続のための利益の最大化、働き方改革、業務改善につなげることが狙いです。そのために定期的に訪問をして、データ分析から経営の見直しまでアドバイスを行います。

す。どんなに優秀な会社でも3~4割はムダがあり、伸びしろがあります。会社全体の意識改革も必要ですが、ITは利益を生む動力として大いに役立ちます。



会議室では、「動力型ITシステム」を実際に見ることができる。見学も歓迎とのこと。

仕事を通じて世の中の役に立ちたい

視野が狭いと不平や不満が出るので、当社の社員にも広い視野を持ってもらうため、経営や統計、さらに論語などの勉強会を開催。人材を育てることも、当社の役割の一つだと考えています。

これまで8名の社員が当社から起業のため独立しました。一番の幸せは、仕事を通じて世の中の役に立つことだという信念を持っているので、20年かけて構築した「動力型ITシステム」を全国に広げたいと思っています。

吉沢さんは、中小企業が生き残るためにITの力でサポートしたいと、熱い情熱を注いでいます!

株式会社 BAISOKU

<https://baisoku.co.jp/>

練馬区中村北2-20-11 ソフィア中村橋2F

☎ 03-6907-3904

平成13年創業。中小企業のIT化を推進する受託開発型のシステム会社。代表取締役は吉沢和雄さんと牧貴子さんの2名で、社員数は6名。



練馬産業見本市
ねりまEXPO2019
いいものたくさん見て触れて!

10月20日(日) 10時~16時

■ としまえん屋内館 (練馬区向山3-25-1)

※練馬まつりと同時開催

農業、アニメ産業を始めとした練馬ならではの90を超える事業者などが出展予定。自社の製品やサービスの展示を行います。皆さまのご来場をお待ちしています。

出展事業者が分野ごとに分かれて出展します。

※詳細は公式サイト (<http://nerima-mihonichi.com/>) をご覧ください。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 製造・技術・機械ゾーン | ⑤ 伝統工芸ゾーン |
| ② 農業ゾーン | ⑥ アニメ・映像ゾーン |
| ③ ぐらしのゾーン | ⑦ 福祉・介護ゾーン |
| ④ 食料品・飲食ゾーン | ⑧ すまいのゾーン |

■ 問合せ：練馬産業見本市事務局 ☎ 03-3423-3602

■ 事業者向けセミナー

産学連携セミナー これからの都市農業

～大学の知識を活用して
世界をあっと言わせる種をまく～

講師：安江 準二氏
東京電機大学 産官学交流センター 研究コーディネーター

10月30日(水)
18時30分～20時30分
練馬区立区民・産業プラザ 研修室1
(Coconeri 3階)

- 対象 / 農業・食分野、製造・加工分野などに関わる事業者
- 定員 / 30名(申込順) ■ 参加費 / 無料
- 締切 / 10月28日(月)

予告

働き方改革セミナー & 個別相談会

11月26日(火) セミナー 14時～16時
個別相談会 16時～18時

勤労福祉会館(練馬区東大泉5-40-36)

講師：加治 直樹氏 特定社会保険労務士

- 対象 / 事業者 ■ 定員 / 30名(申込順)
- 参加費 / 無料
- 締切 / 11月19日(火)

※11月1日(金)から申込を受け付けます。

予告

自分でできる！ ネットショップの運営ノウハウ

11月28日(木) 19時～21時
練馬区立区民・産業プラザ 研修室1 (Coconeri3階)

講師：大森 渚氏 中小企業診断士

- 対象 / 事業者・創業予定者
- 定員 / 50名(申込順)
- 参加費 / 500円
- 締切 / 11月26日(火)

※11月1日(金)から申込を受け付けます。

総合相談・専門相談をご利用ください!

無料

総合相談 平日 9時～17時

専門相談 下表参照(事前予約制)

1回の相談時間は1時間

月曜日～金曜日	第1・第3木曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
起業・創業	法律	労務(経営者向け)	販路拡大・集客	経営全般	税務
ビジネスマネージャー	弁護士	社会保険労務士	ビジネスマネージャー	中小企業診断士	税理士
9時～17時※	9時～11時	13時～17時	9時～17時	13時～17時	13時～17時

※起業・創業相談は、毎月第1・第3木曜日、第2・第4月曜日の20時まで実施(事前予約制)。

nerj·made 「nerima(練馬)」と「made(つくる)」を融合させた造語で、「ネリマデ」と読みます。

編集後記

練馬区では、都市農業について積極的な取組を行っている海外の都市を招聘し、11月29日～12月1日に「世界都市農業サミット」を開催します。そこで、今回の特集では練馬区の農業にスポットをあてて農業関係者に取材をしました。練馬区の農業を支える方々の生の声は、とても興味深いものでした。

nerj·made vol.17 令和元年10月1日発行 年4回(4月・7月・10月・1月)

発行 / 一般社団法人 練馬区産業振興公社
練馬ビジネスサポートセンター

練馬区練馬1-17-1 Coconeri 4階

<https://www.nerima-idc.or.jp/bsc/>

☎ 03-6757-2020 FAX 03-6757-1014

- 業務時間 9時～17時
- 休業日 土・日・祝休日と年末年始(12/29～1/3)



西武池袋線・都営大江戸線
練馬駅中央北口から徒歩1分